

平成30年10月11日(木) 12:55~
JR東日本柏グラウンド

2018年度東京都企業秋季大会
決勝

VS NTT東日本

初回、2番・井村の四球、4番・大野のヒットで2死1、2塁と先制のチャンスを作るが5番・道端が内野ゴロに倒れ無得点に終わる。
先制したのは4回、5番・道端のヒット、7番・泉澤の四球で2死1、2塁とすると、8番・吉田がレフト前にタイムリーヒット！1点を奪う！

5回、1番・新城の四球、2番・井村の送りバントで2死2塁のチャンスとすると、4番・大野がしぶとくライト前にタイムリーヒットを放ちこの回も1点を奪って2点差に広げる！

逆転された直後の8回、クリーンナップの3人が三振に打ち取られ、反撃のチャンスを作ることすらできない。

【試合経過】

チーム名	イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	計
明治安田生命	安打	1	0	0	2	1	0	1	0	5
	得点	0	0	0	1	1	0	0	0	2
NTT東日本	安打	1	0	1	1	1	0	2	4	10
	得点	0	0	0	0	1	0	4	4x	9

先発の上田は4回まで毎回のように走者を出し、また多くの球数を使いながらも粘りのピッチングで相手打線を無失点に抑える。
5回、上田は1死からセンター・泉澤のエラーで走者を出すと、自身の牽制悪送球も絡んでピンチを広げ、スクイズで1点を返される。

7回、2死1、2塁からサード・木田のエラーで同点とされると、その後2死満塁からショート・吉田のエラーでさらに3点を失う。この回守備が乱れ一挙に逆転を許してしまう。

8回から2番手として古田が登板するも2本の長短打で1点を失ったところで3番手・北濱に継投する。しかしその北濱も自身のエラー、四球、2本のヒットで3点を失ってしまう。結果この回4点を失い、7点差がついたため8回コールドゲームで敗れ、準優勝に終わった。

各選手成績は下段の表をご確認ください。

【打撃成績】

打順	守備	選手名	所属	打席	打数	安打					打点	盗塁	犠打	四死	打率
						計	単	二塁	三塁	本塁					
1	4	新城	新宿支社	4	3	0								1	0.000
2	DH	井村	新宿支社	4	2	0						1	1		0.000
3	7	佐藤	所沢支社	4	4	0									0.000
4	3	大野	池袋支社	4	4	2	2				1				0.500
5	2	道端	丸の内支社	4	4	1	1								0.250
6	9	竹内	町田支社	3	2	0					1		1		0.000
7	8	泉澤	武蔵野支社	3	2	0							1		0.000
8	6	吉田	総合法人第五部	3	3	2	1	1			1				0.667
9	5	木田	所沢支社	3	2	0						1			0.000
計				32	26	5	4	1	0	0	2	1	2	4	0.192

【投手成績】

登板	選手名	所属	勝敗	回数	打者	球数	安打	三振	四死	失点	自責	防御率
先発	上田	東京マーケット開発部	×	7	33	146	6	5	2	5	0	0.00
2番手	古田	立川支社		0/3	2	9	2	0	0	2	1	#VALUE!
3番手	北濱	丸の内支社		1/3	5	16	2	0	1	2	1	27.00
計				7 1/3	40	•	10	5	3	9	2	2.45